

**第2クール****第1日 11月12日(土)**

- 9:00 受付
- 9:30~10:30 診療録の書き方
- 10:30~11:30 診療録管理
- 11:30~12:30 医師事務作業補助業務マネジメントの実際
- 12:30~13:30 昼食
- 13:30~14:30 海外における医師事務作業補助業務
- 14:30~17:30 ワークショップ2：教育体制と能力評価

**第2日 11月13日(日)**

- 8:20 受付
- 8:30~ 9:30 がん登録
- 9:30~10:30 NCD登録
- 10:30~11:30 疾患と臨床用語(産婦人科系)
- 11:30~12:30 疾患と臨床用語(小児科系)
- 12:30~13:30 昼食
- 13:30~14:30 医療書類作成のポイント
- 14:30~15:30 メンタルヘルス
- 15:30~16:30 接遇とマナー
- 16:30~ 閉講式

**〈募集要項〉**

- 対象 象 医師事務作業補助者としての実務経験を有する方  
医師事務作業補助者の育成に携わる方、  
または予定の方
- 会 費 4日間全課程一括 40,000円  
(但し、学会非会員 50,000円)
- 定 員 100名(定員を満たし次第締め切らせて  
頂きますので、お早めにお申込み下さい)
- 受付期間 2016年6月13日(月)~2016年9月20日(火)
- 問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局

**2016年度医療安全分科会**

テーマ：今振り返る医療安全の在り方、組織のガバナンス

日本の医療安全活動は1999年、大学病院で起きた人取り違い事件をきっかけに始まりました。2002年、全国の病院に医療安全システムが構築され始めて14年、でもまたありえない医療事故が続発しています。医療安全文化が根付いていない事例をしばしば聞きます。体制が整っていても、抜け落ちた課題があり得ます。今ここで、もう一度振り返って今後を展望する、とても良い機会なのではないでしょうか。本分科会では、現状の課題と展望、特に組織のガバナンスについての

講演を、皆さまとワークショップでそれぞれ実際の自己評価・点検を、さらにアンガーマネジメントや質管理の手法による組織再構築の方法と具体的プロセスを提供します。国の政策課題、新しくできた医療事故調査委員会についての講演も企画しました。

是非多数の皆様にご参加いただき、一緒に日本の医療安全を発展させましょう。

なお、2日間全過程に参加された方には参加証明書を発行致します。

・日 時 2016年11月26日(土)12:00~11月27日(日)16:30

・場 所 公益社団法人日本看護協会 地下2階JNAホール  
(〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2)

**・プログラム****第1日目 11月26日(土)**

12:00 受付開始

13:00 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

13:10~14:30 基調講演

「医療安全とはそもそも何なのか、もう一度原点に立ち戻って考えよう！」

未来医療研究機構代表理事 長谷川 敏彦

14:30~16:30 ワークショップ

「医療安全の悩み、やりがい、そしてその未来」

参加者全員

16:30~17:30 展開講演

「医療安全の現状を憂う！もう一度原点に立ち戻って病院経営と医療安全のガバナンスを問う」

医療の質・安全学会理事 小泉俊三

コメント 組織論：藤田 あけみ

特定機能病院：古田康之

17:30~18:00 概念・課題提供

「あらためて医療安全組織を点検する」~できていること、できていないこと、これからすべきこと~」

名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部

病院助教 古田康之

取手北相馬保健医療センター医師会病院

看護部長 藤田 あけみ

18:00~18:30 話題提供

「医療安全管理モニタリング情報システムについて」

東北福祉大学健康科学部医療経営管理学科

教授 関田康慶